

令和6年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時 令和6年6月26日（水） 午後2時から

開催場所 勝浦市役所 4階 大会議室

出席者

【委員】別紙の通り

【事務局】勝浦市企画課課長（青山） 政策推進係（忍足・鈴木）

4. 会議次第

1. 開会

2. 報告

（1）令和5年協議会事業報告及び決算報告について

（2）令和5年度デマンドタクシー運行実績について

3. 議題

（1）協議会役員の改選について

（2）勝浦市デマンドタクシー運行業務について

（3）勝浦市地域公共交通計画の変更について

（4）令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について

4. その他

5. 閉会

概要

（事務局・青山）

定刻となりましたので、ただ今より、令和6年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。私は、勝浦市企画課の青山と申します。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

始めに、資料の確認をさせていただきます。

会議次第書が表紙となっている会議資料、「勝浦市 地域公共交通計画」右上に議題3、とあるものの、地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書、計画の目標及び実施事業、勝浦市予約制乗り合いタクシーについてのもの、の以上5点となります。お手元にございますでしょうか。

次に、年度の初めでございますので、委員の皆様をご紹介させていただきます。はじめに、昨年度までは竹下副市長が会長職を務めていただきましたが、本年度から、加藤副市長にお願いいたします。勝浦市の加藤副市長でございます。

（会長・加藤）

加藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

（事務局・青山）

次に、副会長の、エミタスタクシー南総株式会社・取締役支配人の古川様でございます。

(古川委員)

こんにちは。エミタスタクシー南総の古川です。今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

同じく、副会長の、小湊鉄道株式会社・バス部長の深山様でございますが、本日は代理として、モビリティ推進部の横山様にご出席いただいております。

(横山委員)

深山の代理で参りました横山です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

次に、国土交通省・関東運輸局・千葉運輸支局・首席運輸企画専門官の高橋様でございます。

(高橋委員)

どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

千葉県総合企画部・交通計画課・地域公共交通担当・課長の伊藤様でございますが、本日は代理として鎌田様に出席いただいております。

(鎌田(代理出席))

よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦警察署・地域交通課長の石井様でございます。

(石井委員)

石井です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

夷隅土木事務所・所長の宮下様でございます。

(宮下委員)

宮下です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

千葉県バス協会・専務理事の成田様でございます。

(成田委員)

成田でございます。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

小湊鉄道労働組合・書記長の清水様でございます。

(清水)

労働組合の清水です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

東日本旅客鉄道株式会社・勝浦駅長の小口様でございます。

(小口委員)

小口でございます。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

日東交通株式会社・鴨川営業所長の松井様でございます。

(松井委員)

松井と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市区長会連絡協議会・総野地区会長の渡邊様でございます。

(渡邊委員)

渡邊です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市民生委員児童委員協議会・会長の内田様でございます。

(内田委員)

よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市都市建設課・栗原課長でございます。

(栗原)

栗原です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市福祉課・水野課長でございます。

(水野委員)

水野です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市学校教育課・紫関課長でございます。

(紫関委員)

紫関です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

勝浦市高齢者支援課・篠宮課長でございます。

(篠宮)

篠宮と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

なお、千葉県タクシー協会・常任理事・外房支部長の大矢様、勝浦市区長会連絡協議会・上野地区会長の吉野様、勝浦市社会福祉協議会・監事の須金様でございますが、本日は欠席となっております。また、本日、会長の了解を得ましてオブザーバーとして出席頂いている方をご紹介します。エミタスタクシー南総株式会社の親会社の、三ツ矢エミタスタクシーホールディングス株式会社より、池邊様でございます。

(オブザーバー・池邊氏)

池邊です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

御宿町企画財政課より、柴原様でございます。

(オブザーバー・柴原氏)

柴原です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

同じく、御宿町企画財政課より、宮本様でございます。

(オブザーバー・宮本氏)

宮本です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

本年度、勝浦市地域公共交通計画推進業務にご協力いただく、ランドブレイン株式会社より、石村

様でございます。

(ランドブレイン(株)・石村)

ランドブレイン株式会社の石村と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

井口様でございます。

(ランドブレイン(株)・井口)

同じく、ランドブレインの井口です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

佐久間様でございます。

(ランドブレイン(株)・佐久間)

同じく、ランドブレインの佐久間と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

最後に事務局の勝浦市企画課、忍足でございます。

(事務局・忍足)

企画課の忍足です。本年度より企画課に配属となりまして公共交通の担当となりましたのでよろしくをお願いいたします。

(事務局・青山)

続いて、鈴木でございます。

(事務局・鈴木)

企画課の鈴木です。よろしくお願いいたします。

(事務局・青山)

私、青山、でございます。よろしくお願いいたします。

次に、本日の出席者数について報告いたします。委員総数20名のうち、出席者数は17名です。うち代理出席者2名、欠席委員3名より委任状を提出いただいております。委員総数の過半数に達していることを報告いたします。

次に、本会議につきましては、原則公開としておりますが現在のところ、傍聴の申出はありませんので報告いたします。

私の方からは以上でございます。これより議事に入りますが、議事の進行につきましては、会長の加藤副市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（会長・加藤）

改めまして、この度はお忙しい中、本協議会にご出席いただきまして、皆様ありがとうございます。副市長の加藤でございます。本日の会議は次第書にありますとおり、報告事項として、『令和5年度協議会事業報告及び決算報告について』『令和5年度デマンドタクシー運行実績について』の2点でございます。また、議題として、『協議会役員の改選について』『勝浦市デマンドタクシー運行業務について』『勝浦市地域公共交通計画の変更について』『令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について』の以上4件を議題といたします。よろしくお願いいたします。

それでは、報告の1つ目であります、『令和5年度協議会事業報告及び決算報告について』事務局より報告を求めます。

（事務局・忍足）

それでは、最初に令和5年度勝浦市地域公共交通活性化協議会の事業報告をさせていただきます。お手元の次第資料の3ページをご覧ください。

昨年度、会議は4回開催いたしました。

1回目は令和5年6月26日、報告事項といたしまして、「令和4年度協議会事業報告及び決算報告について」「令和4年度デマンドタクシーの運行実績について」を報告いたしました。また議題といたしましては、「デマンドタクシー利用者アンケートの実施について」「令和6年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について」ご審議いただきました。

2回目の会議は令和5年11月17日、報告事項といたしまして、「デマンドタクシー利用者アンケート結果について」「地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について」を報告いたしました。また議題といたしましては、「令和5年度地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の変更について」ご審議いただきました。

3回目の会議は令和6年1月31日、報告事項といたしまして、「地域公共交通計画における実施事業の進捗状況について」を報告いたしました。また議題といたしましては、「令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」ご審議いただきました。その他といたしましては、昨年12月にJRのダイヤ改正について報道発表がありましたので、地域に関係する主な部分について、説明させていただきました。

4回目の会議は令和6年3月27日、議題といたしまして、「路線バス「勝浦・御宿線」及び「ミレーニア線」の再編について」「デマンドタクシーの運行拡充について」「令和6年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について」「協議会委員の追加について」ご審議いただきました。なお、4回目の会議において、デマンドタクシーの運賃の見直しについてもふれましたが、運賃につきましては、道路運送法の改正により本協議会で決定することができず、パブリックコメント手続きなどの住民等の意見を聞くプロセスを経たうえで、運賃について協議する専門の協議会（運賃協議会）を開催し、協議が調った後に運行事業者が国土交通大臣に届け出ることで決定することとなっております。なお、運賃協議会については、令和6年4月1日付けで設立に関する規約を制定させていただいており、6月14日から7月16日までパブリックコメントを行っていることを申し添えます。

会議のほかの事業内容といたしましては、令和6年度分の地域公共交通確保維持事業に係る生活交通確保維持改善計画の認定申請書及び令和5年度分の同事業に係る事業評価を提出いたしました。こ

れはデマンドタクシーの運行に係る国庫補助金の交付を受けるためのものでございます。また、デマンドタクシー利用者アンケートを実施し、その結果については2回目の会議にて報告させていただきました。以上が令和5年度の事業報告でございます。

次に令和5年度の本協議会の決算報告でございますが、資料の4ページをご覧ください。収入済額、支出済額にて説明させていただきます。歳入から申し上げますと、本協議会の運営に係る経費の負担金として205,000円を勝浦市から受け入れております。

次に諸収入5円、こちらは預金利息でございます。収入合計は収入済額で205,005円となります。

次に歳出でございますが、会議費として支出済額179,960円。こちらは4回開催した会議にご出席いただきました委員への報酬及び旅費でございます。

次に事務費といたしまして、支出済額5,060円。こちらは委員報酬・旅費の支払いの際の振込手数料でございます。支出合計は支出済額で185,020円となります。

歳入・歳出の差額19,985円については、勝浦市の一般会計に戻すこととなっており、すでにその処理は済んでいることから繰越額は0円となります。

なお、この決算内容について資料の5ページのとおり、適正であることを監査役であります、吉野委員・須金委員に確認していただいておりますことを報告いたします。

最後に資料の6ページをご覧ください。前回の会議で承認された今年度の事業計画でございます。こちらについては参考資料として付けさせていただきましたので、ご確認いただけたらと存じます。以上で、令和5年度の事業報告及び決算報告について説明を終わります。

(会長・加藤)

ありがとうございました。事務局の報告について何かご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(成田委員)

事業報告の説明の中で確認させていただきたいことがあります。4月からの本協議会に道路運送法の改正に伴って、別途運賃に関する協議会を設置した規定をお作りになったということでございます。勝浦市地域公共交通活性化協議会の各委員に運賃協議会の規約がどのようなものであるのか、どのように運賃のパブリックコメント等の手続きを行い決定していくのかについて勝浦市地域公共交通活性化協議会の各委員にお知らせいただいているのでしょうか。

また、現在6月14日からのパブリックコメントがどのように行われ、どのような内容なのかを地域公共交通活性化協議会の各委員にお知らせいただいているのでしょうか。この2点について確認をお願いしたいです。

(事務局・忍足)

今、成田委員がおっしゃられた協議会の規約につきましては、昨年度3月の会議の中で「規約の案」という形で示させていただきました。パブリックコメントにつきましては、まず、デマンドタクシーの運行拡充に伴う運賃の見直しがございます。大人運賃が現行400円から改定案として500円に、小学生につきましては現行100円ですが無料になります。改定の理由といたしましては、大人運賃については、近年の人件費や燃料費の高騰に伴う運行経費の上昇や、市内の路線バス、タク

シー等の公共交通の運賃を勘案した設定ということで改定案を示させていただきました。小学生の運賃につきましては、小学生の頃から公共交通に親しむことで、将来的な公共交通の利用促進を図るとともに、子育て支援策の一環として運賃案を示させていただいております。これらについて勝浦市のホームページにてパブリックコメントを実施しております。7月16日を期限とし、それを踏まえて次回8月上旬に運賃協議会を実施し、またその後の活性化協議会で正式に運賃の改定について決めさせていただきたいと思っております。ただし、協議会の規約については3月に示したものはあくまで案という形でしたので、それについてはこの後作成した会議録を送る際に各委員に公共交通運賃協議会の規約を送付させていただきたいと思っております。以上です。

（成田委員）

理解いたしました。1点目の令和5年度の3月に改正された道路運送法に伴う運賃協議会に関する規約の案をお示しになられたということでしたが、私の質問は要綱に基づいてどのようなプロセスで協議会が運営されていくのかという部分を、公共交通活性化協議会の中で共有してはどうかと思いました。この場合は路線の対応等、勝浦市の地域公共交通をどのようにしていくかという議論の場であり、内容によっては調整が必要な部分もございますので、協議会の規約に加えて運賃改定のプロセスについても共有するべきかと思っております。

2点目は、パブリックコメントを6月14日から行っており、現在勝浦市のホームページに掲載しているとのことでした。今回の道路運送法の改定によって、運賃協議会では改正する一般乗合旅客運送事業者のみが記載されており、その他の乗合バス事業者、タクシー事業者、貸し切りバス事業者はその中に入らないとのこと。今、口頭で言われた内容について大きな問題にはならないと思いますが、運賃は非常に大きな影響があり得るものなので、パブリックコメントの内容やどのように実施するかについて事前に協議会委員に周知していただくような取り扱いをご検討いただけないかという要望でございます。

（事務局・青山）

パブリックコメントの件は、公表する内容の事前お知らせ及び事後についてもお示しできていなかったため、今後の対応を改めたいと思っております。

運賃の件は、昨年度3月の協議会の中で協議運賃制度の件など概略ではございましたが触れさせていただきました。

先ほどの運賃につきましても、パブリックコメントの正式な案というわけではないが、協議会の時点で大人運賃及び子供運賃を改定について触れさせていただきました。とはいえ、正式なものについては皆様にお知らせできていなかったため、今後は先程のご意見を取り入れさせていただきます。

（成田委員）

私の発言は、事務局が不適切だったという趣旨のものではありません。運賃の改正は非常に広い範囲に影響を与えるもので、公共交通を支える対価が1円違うだけでも大きな影響がございます。その意味で決定する際は当該事業者、市民、市、運輸局で決めていただいて結構ですが、あらかじめ調整が必要な内容もございますので、事前に公共交通会議の方にはどのような内容を今後決めていくのかについてお知らせさせていただきたいと思っております。運賃形態が決まってから問題が発生したとなれば手戻りが大変なので、今後は情報の共有を心がけていただくことが重要なのかなと思っております。これまでの勝浦市

の事務局プロセスに問題があるという趣旨の発言ではないので、この点についてご理解いただき調整をお願いしたいと思います。

（会長・加藤）

運賃の決め方についてはハレーションがあるとのことなので、今後は事前に本協議会に情報共有をしていただくということによろしいでしょうか。

（事務局・青山）

はい。

（会長・加藤）

では、今後そのようにいたします。

他にご意見・ご質問等はよろしいでしょうか。

無いようですので、次に『令和5年度デマンドタクシー運行実績について』事務局より説明を求めます。

（事務局・忍足）

運行実績報告の前に勝浦市のデマンドタクシーについて説明いたしますと、運行日は祝日及び年末年始を除く月曜日から土曜日、1日6便で、事前に予約が必要です。運賃は大人400円、中高生200円、小学生100円、未就学児無料、運転免許証返納者・障害者及び介護者200円、市で発行している高齢者タクシー利用券が使用できます。運行区域は上野地区全域、大沢、浜行川、興津の一部、小松野、大楠、松部・串浜の一部でございます。また、今申し上げました地域の外側にある駅や金融機関、商業施設、公共施設、病院などを共通乗降場所としており、上野地区等の地域から共通乗降場所への移動、またはその逆の移動にご利用いただけます。なお、共通乗降場所から共通乗降場所への移動にはご利用いただけません。

それでは詳細な運行実績について説明いたします。資料の7ページをご覧ください。A3カラー刷りになります。最初に、各グラフの説明をいたします。

上のグラフの青い棒グラフについては、ひと月ごとの乗車人数で、数値は左側の目盛りとなります。令和元年度から令和5年度までを表記しており令和5年度（右側）においては、令和6年1月を除き全体的に平均しており、ひと月あたり350人ほどで推移しております。

参考値ではございますが、令和6年4月の実績は384人、5月は383人と昨年よりも増えている状況でございます。

また、折れ線グラフについては、各月の1日当たりの平均乗車人数で、数値は右側の目盛りとなります。令和5年度においては、乗車人数と同様に令和6年1月を除き1日あたり14～15人ほどで推移しております。なお、例年1月頃は寒さによる外出控えのせいか利用が少なくなっている状況であります。

下の方の円グラフについては、左が「曜日別の乗車人数」でございます。数値としましては、月曜日が728人で17%、火曜日が837人で20%、水曜日が705人で17%、木曜日が636人で15%、金曜日が789人で19%、土曜日が524人で12%となります。日曜日は運行しておりません。曜日による大きな偏りは認められませんが、若干土曜日が少なくなっております。これは塩田病院の診療が土曜日は午前中のみとなっているためと思われます。

中央の円グラフは「便別の乗車人数」でございます。1 便が 397 人で 9%、2 便が 1,161 人で 28%、3 便が 1,221 人で 29%、4 便が 706 人で 17%、5 便が 515 人で 12%、6 便が 219 人で 5% となっております。2 便・3 便の利用が多くなっており、次に説明するグラフとも関連しますが、医療機関や商業施設への用事を午前中のうちに済ませるといった利用が多いものと推測できます。

右の円グラフは「目的地別の乗車人数」でございます。医療機関が 1,885 人で 45%、公共施設が 247 人で 6%、駅が 492 人で 11%、郵便局・金融機関が 205 人で 5%、商業施設が 1,212 人で 29% となっております。利用の多くが医療機関やスーパーなどの商業施設となっております。

円グラフの下の方の折れ線グラフは、運転免許証返納者による乗車人数の推移です。

令和元年 4 月から開始した制度であります。全体の乗車人数に対する運転免許証返納者による利用回数の割合を計算すると、令和 2 年が 10.0%、令和 3 年が 10.5%、令和 4 年が 13.5%、令和 5 年が 15.0% と年々上昇しております。運転免許証の返納制度の周知が進んだことと、勝浦市における高齢化が進んでいることが考えられますが、いずれにしてもデマンドタクシーが重要な移動手段となっていることがうかがえます。

最後に、右下の四角く囲った中に、令和 5 年度デマンドタクシー運行実績の総括を記載しております。一部訂正箇所がありまして、乗車人数 4,212 人と記載しておりますが、記載誤りで正しい人数は、4,219 人となります。また前年度比も +382 人⇒+389 人となりますので、訂正をお願いいたします。

考察といたしまして、乗車数は前年度と比較して、およそ 380 人以上増加している。1 日あたりの乗車数も 14.4 人であり、勝浦市地域公共交通計画における目標値として掲げた 15.0 人にはいかないものの、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが令和 5 年 5 月 8 日から 5 類感染症へ移行されたことに伴い外出等の行動制限がなくなったことによる増加であるものと考えられます。

また、運転免許返納者の利用率が増加しており、超高齢化社会を向かえ、運転免許の返納者も今後増加することが考えられます。地域公共交通計画の中で、デマンドタクシーを利用した全ての方を対象としたアンケートにおいてもおよそ 40%の方が世帯として自家用車による移動手段をもたないこととされていることから、今後についても増加していくことと考えられます。このことから、運転免許返納者に対して継続的に周知をしていくとともに、持続可能で住民にとって利用しやすい交通手段を形成していく必要があります。以上で、令和 5 年度のデマンドタクシーの運行実績について説明を終わります。

(会長・加藤)

ありがとうございました。ただ今の事務局からの説明に対して、ご意見・ご質問等よろしいでしょうか。

(成田委員)

詳細にご説明いただいて、デマンドタクシーの運行実績が伸びていることを理解いたしました。デマンドタクシーの取り組みは勝浦市地域公共交通計画の事業の一環であり、考察では現在の目標値の 15 人に対して今回は 14.4 人となっております増加傾向であるという説明でした。今後目標値の見直しを行うご予定はあるのか、また、現在のデマンドタクシーの輸送体制がどのように行われているのか伺いたいです。今後、自家用車による移動手段を持たない方が増え利用者が増えてきた場合に、現在の輸送体制で維持できるのでしょうか。これは予算も関係することですが、近々運行形態の見直

しをされるご予定はあるのでしょうか。あともう一点、地域公共交通計画のアンケートを行っているとのことですが、これは最近実施したものではないと思うのですが、アンケート結果はいつ時点のものでしょうか。今後、自家用車による移動手段を持たないとされている方が今後どのような推移を辿っていきそうなのか調べなくてもいいのか。これらについてお考えをお聞きしたいです。

（事務局・青山）

まず、目標値の見直しの予定ですが、結論から言いますと目標値の15人を見直すかどうかというのは検討段階であり、まだ決めておりません。ただ、10月から現在の2台体制から3台体制にするという契約で進む予定でありますので、そういったことも加味して目標値の見直しについて考えていきたいと思えます。

次に今後の輸送体制についてですが、10月からの3台体制については5年間の契約を予定していますので、基本的には5年間は3台体制での運行をしていきたいと考えております。とはいえ、3年後や4年後のことはまだ分からないので、必要に応じて都度見直しを行っていくことになると思えます。

一方で、自家用有償旅客運送制度の導入を予定していますが、今の段階ではデマンドタクシーが通っていない総野地域での導入を考えておりますので、重複がない形で市内の公共交通をカバーしたいと考えております。

次にアンケートの実施時期についてですが、先ほどの考察については地域公共交通計画の策定時に実施したアンケートに基づいたもので、ここでは40%の世帯が自家用車による移動手段を持っていないと推測しました。内容は若干異なりますが、2年に1回デマンドタクシーの利用者にアンケートを実施しており、直近では令和5年度の7月から8月に実施をしております。昨年度、概略ではございますが会議にてご報告させていただきました。

（成田委員）

10月から2台から3台で、5年契約で決まっているということですが、これから利用が増えてきた時に、なかなか予約が上手くいかないであるとか、それが口コミで広がり利用にブレーキが掛かってしまっているといけないので、運行されるタクシー事業等からも色々な情報を収集していただき、必要な時はこの会議でも提案いただき、利用者の意向と上手く調整をしていただきたい。また、地域公共交通計画のアンケートの中で、自家用車を持たない方に対して2年に1回調査を取っているということですので、利用者の動向を収集して適切に進めていただければと思います。

（会長・加藤）

目標値の見直しについてはこれからとのことですが、今年度の事業推進等によって利用者の増加が見込まれますので、今年度下半期の動向も見据えながら、来年度の目標値の見直しについて検討をお願いいたします。

その他無いようですので、報告を終わります。

続きまして、議題に入ってまいります。はじめに、『協議会役員の改選について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

（事務局・忍足）

それでは、勝浦市地域公共交通活性化協議会役員の改選について説明いたします。資料の8ページをご覧ください。

勝浦市地域公共交通活性化協議会設置規約第6条の規定により、会長は勝浦市の副市長をもって充てることとなっております。また、副会長2名は会長が指名し、監査2名は会長が任命することとなっております。

なお、参考までに協議会設置規約を9ページから11ページまでに添付しております。

以上で、協議会役員の改選についての説明を終わります。

(会長・加藤)

ただ今、事務局より説明があったとおり、『協議会役員の改選について』でございますが、規約により協議会の会長は、副市長が務めることとなっているようでございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

また、副会長2名は会長が指名、監査2名は会長が任命することとなっているようでございますので、副会長には、小湊鉄道株式会社の深山委員と、エミタスタクシー南総株式会社の古川委員にお願いしたいと思います。

監査につきましては、勝浦市区長会連絡協議会の吉野委員と、勝浦市社会福祉協議会の須金委員にお願いしたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。

次に、『勝浦市デマンドタクシー運行業務について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

(事務局・忍足)

勝浦市デマンドタクシー運行業務について説明いたします。資料の12ページをご覧ください。

現在のデマンドタクシー運行業務につきましては、小湊鉄道株式会社が請け負っており契約が9月で終了することから、5月にプロポーザルを実施したところ、令和6年10月から運行業務を委託する事業者については、エミタスタクシー南総株式会社及び小湊鉄道株式会社の「勝浦市デマンドタクシー運行業務共同企業体」にお願いする予定となっております。エミタスタクシー南総株式会社につきましては、10月からのデマンドの運行にあたり道路運送法第4条許可申請を運輸局に提出し許可を得ることとなります。本件については、申請に先立ち、本協議会において運行にかかる協議事項として同意決議を諮るものであります。また協議が調っていることの証明書(案)につきましては、12ページの掲載とおりであります。内容としましては、①路線又は営業区域の表記、こちらは新官の一部・部原を追加しております。また、共通乗降所に御宿町の一部と付け加えております。②運行系統の表記、③適用する期間・条件の表記ということで、適用する期間が令和6年10月1日～令和11年9月30日、運行期間と運行時間が書いてありまして、運行事業者がエミタスタクシー南総株式会社となっております。

なお、協議会の合意をいただいた後に、運行事業者に対し、「協議が調っていることの証明書」を交付し、運行事業者より運輸局へ各種申請をすることになります。また、証明書の記載につきましては、関東運輸局に事前確認しておりますことを申し添えます。

参考資料といたしまして13ページ以降に「デマンドタクシーの運行拡充に関する」資料を添付しておりますが、3月の協議会にて審議した資料でありますので、説明は割愛させていただきます。以上で、勝浦市デマンドタクシー運行業務について説明を終わります。

(会長・加藤)

ありがとうございます。ただ今、事務局より説明がありました、『勝浦市デマンドタクシー運行業務

について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

それではお諮りいたします。『勝浦市デマンドタクシー運行業務について』ご異議ありませんか。

(異議がないことを確認)

異議なしと認め、『勝浦市デマンドタクシー運行業務について』は承認されました。

次に『勝浦市地域公共交通計画の変更について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

(事務局・忍足)

勝浦市地域公共交通計画の変更について、ご説明いたします。

別冊資料をご覧ください。右上に議題3と記載している資料になります。

国は、地域公共交通の維持に対する支援として「地域公共交通確保維持事業」に基づき支援を行っておりますが、令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正と合わせる形で地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統等の位置付けの補助要件化（計画制度と補助制度の連動化）が行われました。この補助連動化に伴い、勝浦市地域公共交通計画への修正・追記を行い計画の変更（案）を作成しました。

計画変更につきましては、令和6年3月27日開催しました令和5年度第4回勝浦市地域公共交通活性化協議会において協議させていただきました「デマンドタクシーの運行拡充」によるものであります。

具体的には、令和6年10月から勝浦市が運行するデマンドタクシーが御宿町内に乗り入れる予定となっており、勝浦市と御宿町は隣接しており、生活圈としては一体であるとの考えによるもので、この部分について勝浦市地域公共交通計画を一部変更し、位置付け・役割として記載することにより明確化するものであります。

変更箇所の詳細につきましては、資料1ページの新旧対照表をご覧ください。

変更部分については、赤字修正しており、黄色で塗りつぶしてあり、右側が修正後になります。

左側には、公共交通計画の変更ページを記載しております。

計画書72ページ(2)公共交通網のあり方 1)公共交通再編の基本的な考え方。①において「市内交通」から「地域内交通」に変更します。

また、下段の各公共交通機関の機能分担においては分類の中の幹線（幹線公共交通）、交通機関（路線バス）の位置付け・役割表記を御宿駅（路線バスの再編・廃止予定となっているため）及び車庫町を前任と確認したうえで削除いたしました。

分類の支線（地域内公共交通）、交通機関（デマンドタクシー）の位置付け・役割表記を主な地域内の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通から、勝浦市内及び生活圈を一体とする御宿町内への移動手段として、公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担う交通に変更します。

続いて、資料2ページをご覧ください。計画書73ページの上段、地域公共交通確保維持事業（フイダー補助）を活用したデマンドタクシーの位置付けの役割表記について、地域内移動から勝浦市内及び生活圈を一体とする御宿町内における移動手段に変更します。

続いて資料3ページをご覧ください。計画書74ページにつきましては、公共交通区域図の表記に、勝浦市デマンドタクシーの御宿町乗り入れの実施（勝浦市デマンドタクシーの共通乗降場所を追

加)を追加するとともに、御宿町のエリア追加しております。

続いて資料4ページをご覧ください。計画書78ページにつきましては、【事業1】デマンドタクシーの運行サービスの見直し部分において、①事業概要として、デマンドタクシーは、勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内における移動手段であるとの表記に変更します。また、②実施主体に御宿町を追加いたします。また、現行のデマンドタクシー事業及び実施主体の概要欄において、自由乗降区域に、新官の一部・部原を追加するとともに、共通乗降場所項目を追加し、勝浦市内の公共施設、医療機関、商業施設等、御宿町内の乗降場所を追加いたします。

続いて資料5ページをご覧ください。計画書80ページにあたります。【事業5】路線バスの維持の①事業概要において、勝浦駅から御宿駅線が9月末をもって廃止予定となっているため、路線数表記を削除し、「路線バスは、勝浦駅と市内各地域や大多喜町等を結ぶ移動を担う」に訂正変更させていただきます。また、御宿町の表記を削除し、路線の延伸及び廃止のほか、代替交通としてのデマンドタクシーの運行拡充との表記に変更いたします。

なお、計画変更につきましては、関東運輸局に書類内容を事前確認しておりますことを申し添えます。以上で、勝浦市地域公共交通計画の変更について説明を終わります。

(会長・加藤)

ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありました、『勝浦市地域公共交通計画の変更について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

(成田委員)

1点目は、私は県内の公共交通活性化協議会にほとんど入っているため、先週も他の自治体の会議と重なってしまい御宿町の会議に出られませんでした。今回、御宿町と共同で運行することですが、御宿町の地域公共交通計画の議事について、本日の提案と同じように合意可決されたか否かについて、補足してご説明いただきたいです。

2点目は、ご説明の中で「勝浦市内及び生活圏を一体とする御宿町内」という表現がありました。これは解釈によって地域が広がったり狭くなったりしてしまい、どこが「生活圏を一体とする御宿町」なのかという定義が分かりません。この問題は、勝浦と御宿それぞれの交通活性化協議会で議論して進める内容なので注意は必要ないと思うが、「一体とする御宿町内」というものが、その時その時で変わるべきではないと思われます。そこで、事務局としてはデマンドタクシーの運行範囲としての「一体とする御宿町内」をどのように解釈しているのか教えてください。

3点目は、地域公共交通計画ではパブリックコメントを行い、市民の意見を踏まえて策定されたものであると理解しています。今回計画の改定をするわけですが、この協議会で議決を取れば軽微な変更についてのパブリックコメントは必要ないと思うが、変更内容については市民の方々への周知を行う必要があると私は思います。この点について、事務局では変更後の周知を予定されているのでしょうか。

最後は、軽微なものでありますが、公共交通計画の変更に関する修正があったので、口頭で説明されたことも含めて、本日欠席された委員にも計画がこうなったということを周知していただけないかというお願いです。

(会長・加藤)

1点目は御宿町の会議で同様の内容が可決されたかについて、2点目は、「生活圏を一体とする」の定義について、3点目は計画の改定内容について市民に周知を行うのか否かについて、4点目は委員への周知について、以上4点について回答をお願いします。

（事務局・青山）

1点目の御宿の会議における合意可決については、先日の会議に私たち事務局3名で参参加させていただきまして、承認されたことを確認しております。

2点目の「生活圏を一体」とするについては、成田委員が仰る通りデマンドタクシーについてということで記載しており、記載内容については色々と考え、相談した結果このようになりました。また、基本的に御宿線のデマンド区域は今のバス路線の御宿・勝浦線に沿っているということで、バス路線が存在すること自体が以前から「一体な場所」と理解されている地域と事務局は解釈しております。

3点目の計画変更後の周知については、周知方法も色々ありますが、ホームページに今回の会議の資料も含めて随時載せる予定でいます。従って、注目している方はそこで知ることができますし、計画についてもホームページや広報誌の載せる等検討したいです。計画の細かい変更についてと重なる部分ですが、今回の計画変更はデマンド交通がどうなるかという点が主題となりますので、デマンドタクシーの変更については周知していきたいと考えております。

最後の資料の修正点の周知については、議事録と一緒に修正したものを送付いたします。

（会長・加藤）

私からも確認ですが、この計画の修正は6月中に行うものですか。

（事務局・忍足）

この後の議題に関連しますが、フィーダー補助の認定申請の関係で事前に交通計画の変更を行うことになると思います。その際に協議会で皆さんに周知し、承認していただくことになるかと思います。

（会長・加藤）

改正されたものが市民に周知されるタイミングは何月くらいですか。

（事務局・忍足）

基本的には議事録・会議録が作成できれば、早い段階でホームページに載せたいと思います。

（会長・加藤）

バス路線が廃止になることは、まだオープンになっていないですが、事業者が開示するタイミングはいつ頃ですか。

（事務局・青山）

その点は、小湊鉄道さんとも話し合っている内容ですが、昨年の公共交通会議の中でも路線の見直しの話は出てきており、そちらの会議資料はホームページに載せております。ただ、内容は協議して

いる最中なので、最終的な話は決まっております。

（横山委員）

小湊鉄道の横山です。ミレーニア線など周辺の路線の延伸等についての作業はこれからになりますので、それが整い次第皆様に公表できるかと思います。勝浦市さんが公表するタイミングと弊社が公表するタイミングが一緒になるかどうかについては今後話し合っていくなかで決まっていくものだと思います。弊社としては、公表は早くても改正の1カ月前になってしまうと考えております。

（会長・加藤）

小湊さんとしては同じタイミングではなくてもいいということですか。

（横山委員）

そうですね。正式に決まってから公表した方が、多くの方にとって分かりやすいかなと思います。

（会長・加藤）

改正の1ページにある機能分担ですが、御宿町内の移動において公共交通空白地域という言葉を使っていますが、今バス路線があるところを先に空白地域と言ってしまっているのかなと思いました。

（成田委員）

今会長のご心配にもございましたように、交通空白地域という記述について、もしより良い表記があればと思います。

計画の公表時期とバス路線廃止の公表時期を合わせたかどうかという話だったと思いますが、補助申請の手続きもあるので、必ずしも一緒にせず、切り分けた方がいいのではないかと思います。次のバス路線の廃止の公表については、勝浦市と小湊鉄道、御宿町やタクシー事業者等、関係者との調整を経て一緒に公表された方がいいのではないのでしょうか。聞く相手によって言っていることが変わってしまうと、どれが本当かわからなくなってしまうので、連携した事業においては実際に事業を行う際の公表時期は一緒にした方がいいと思います。一方で、計画の公表は合わせなくてもいいのではないかと思います。

（会長・加藤）

計画の変更は補助金の申請に必要なものと承知しておりますので、それに合わせたいと思います。

その他無いようですので、それではお諮りいたします。『勝浦市地域公共交通計画の変更について』ご異議ありませんか。

（異議がないことを確認）

異議なしと認め、『勝浦市地域公共交通計画の変更について』は承認されました。

次に『令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について』を議題とします。事務局より説明を求めます。

(事務局・忍足)

令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について、ご説明いたします。別冊となっております資料をご覧ください。右上に議題4と記載している資料になります。

まず、地域公共交通確保維持事業の説明ですが、これは国の事業で「地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するために、鉄道や路線バス等の幹線交通を補完するようなコミュニティバスやデマンドタクシー等の運行を支援する」事業です。

勝浦市においては、デマンドタクシーがこれに当たり、運行に係る経費について補助金の交付を受けております。基本的にフィーダー補助は、支線（地域内交通）を担う交通に対して交付されるものです。この補助金を受ける条件として、地域内の公共交通について協議する場合、すなわち本協議会の設置と、協議会での協議を経て提出された計画の認定が必要となります。

また、地域公共交通計画において、当該運行事業の必要性等を掲げることが求められており、勝浦市地域公共交通計画に記載されております。

今回ご審議いただく認定申請書は令和7年度のものであり、デマンドタクシーの運行期間で言うと、令和6年10月から令和7年9月のものとなります。公共交通分野における年度区分は、10月から始まり9月で終わる1年間となっております。

資料の1ページをご覧ください。こちらには当該事業の対象となる公共交通、すなわちデマンドタクシーの位置付けや役割、必要性等が、勝浦市地域公共交通計画のどの部分に記載しているか示しております。補助対象系統が複数市町村にまたがる場合は、沿線のすべての市町村の交通計画の記載箇所も記入することとなっておりますので、今回より御宿町地域公共交通計画の該当ページも記載しております。2ページから8ページは地域公共交通計画の記載部分の写しとなります。

9ページ以降における昨年提出したものからの主な修正点は、1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性についてでございますが、令和6年10月から勝浦市の運行するデマンドタクシーが生活圈を一体とする御宿町内へ乗り入れることについて追加記載しております。

続いて10ページをご覧ください。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果の（2）事業の効果についてでございますが、デマンドタクシー運行拡大に伴い、地域間移動の利便性向上を図るとともに市街地商店街や生活圈を一体とする御宿町等へのアクセス性の向上について追加記載しております。

続いて3の2の「目標を達成するために行う事業及び事業主体」に、御宿町を追加記載するとともに、御宿町地域公共交通計画の掲載箇所を追加記載しております。

続いて5、「地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」において、本年度10月からの新たな契約に対する、1日当たりの委託料及び勝浦市の運行するデマンドタクシーが御宿町内へ乗り入れることに伴い、御宿町からの負担金（利用者数で按分）を徴収することについて変更記載しております。主な修正点は以上となります。

デマンドタクシーについては、引き続き運行を行っていくことを前提に、資料のとおり地域公共交通確保維持事業に係る計画の認定申請書を提出することについて、ご承認いただければと思います。

なお、今回より令和2年の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正に基づく新要綱での申請をすることとし、これにより補助金の申請や受領を本協議会が行うこととなりますが、この補助金の交付時期は令和8年2月頃となりますので、来年度の予算で計上することとなりますことを申し添えます。

なお、計画認定申請書につきましても、関東運輸局に書類内容を事前確認しておりますので申し添えます。

以上で、令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について説明を終わります。

（会長・加藤）

ありがとうございました。ただ今、事務局より説明がありました、『令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について』ご質問・ご意見等がありますでしょうか。

（成田委員）

10月から3台に増やすというお話がありましたが、今日これから議決する資料は3台分の補助金を申請するという事で合っていますか。

（事務局・忍足）

こちらについては既にプロポーザルを行っておりまして、運行事業者とも2台から3台に変更すると決めておりますので、3台という認識で申請をさせていただきます。

（会長・加藤）

その他無いようですので、それではお諮りいたします。『令和7年度地域交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について』ご異議ありませんか。

（異議がないことを確認）

異議なしと認め、『令和7年度地域交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について』は承認されました。

これにて「議題」については終了となります。次に、その他として何かありますでしょうか。

（鎌田委員（代理出席））

今回、鉄道の関連で1点発言いたします。本日、鉄道事業者の方や道路管理者の方がご出席されているということで、この場をお借りして県から関係者の皆様へお願いがございます。本年の4月に群馬県の高崎市で警報機や遮断機がない、いわゆる第四種踏切にて小学生の児童が列車にはねられて亡くなるという事故がありました。ここ勝浦市においても第四種踏切があると思いますが、そこに警報機や遮断機を新しく設置するということは費用や近隣の方の理解等の課題があると思われるため、難しいということは承知しております。そのため、管理者の方におかれましては踏切が設置された経緯などを踏まえて、注意喚起が不十分な場合は看板を設置するなど安全性を高めていくような取組をお願いしたいと思っております。

（会長・加藤）

ありがとうございます。その他ございますか。

(事務局・青山)

事務局より、地域公共交通計画に掲げる実施事業の進捗状況について、昨年度からの会議と重複する点もございますが、その取組の概略について改めてご報告いたします。

別紙のA3資料で配布いたしました、地域公共交通計画のP75、76の写し「5. 計画の目標及び実施状況」をご覧ください。

抜粋となりますが、左側から、こちらに基本方針、計画の目標、実施事業の全体像が記載されています。このうち、右側の表の「事業」に沿って、ご報告いたします。

まず、【事業1】デマンドタクシーの運行サービスの見直しについては、現在の運行業務の契約が令和6年9月で終了することから、こちらにつきましては、本会議においても触れさせていただいたとおり、10月からは、運行台数を2台体制から、1台増やすことによる3台体制への拡充、新官の沿岸地域や部原を自由乗降区域とする区域の拡充、勝浦地区内の共通乗降場所間での乗降を可能とする乗降ルールの変更等を予定しております。

次に、【事業3】JR外房線の利用促進、【事業5】路線バスの維持に関しまして、令和5年度から、高校生の通学定期の購入に対して補助金を交付しており、また、通勤に係る特急利用に対しても補助金を交付しております。令和5年度の実績としましては、高校生通学定期の購入補助としては175名に対して約430万円を、特急券の利用助成としては20名に対して約140万円を交付いたしました。市として、引き続き実施することで、通勤・通学者を対象とした利用支援をしていくことで、利用の促進につながればと考えております。

次に、【事業4】高速バスの利便性向上につきましては、パーク&ライド用駐車場の整備について、墨名の駐車場をそうした場所にできないか、庁内等で協議いたしましたが、現状では、なかなか難しいという結論であり、その他の候補地も上がっていないというのが現状でございますが、引き続き、検討をしていきたいと考えております。

また、そのほか、勝浦・東京線の利便性向上について、共同運行事業者であります日東交通様、小湊鉄道様、京成バス様に相談をしており、具体的には、金田バスターミナルにおいて、現在は「上り線での降車」や「下り線での乗車」ができないため、金田バスターミナルに乗り入れる多くの路線との乗り継ぎが可能となるよう、他の市町村とも連携しながら、協議を進めていきたいと考えております。

【事業6】亀田総合病院（鴨川市）へのアクセス検討に関しましては、直通バスの運行に関しまして、小湊鉄道様及び日東交通様に相談もさせていただいたところですが、利用者の見込み数に対して費用が多額であることから、こちらも、現状、その方法等について検討段階となっているところで

す。

そのほかにつきましては、【事業2】タクシーの利用促進、【事業9】観光施設等との連携サービスの導入、に関しまして、夜間の飲食客などの足の確保として、昨年度もご協力をいただいたところですが、令和6年度においても、夜間の運行についてエミタスタクシー南総様と協議し、7月から、最終電車の利用者までの対応をお願いする予定となっております。

また、本年度は、【事業10】ICTを活用した効率性及び利便性の向上、に関連しまして、デマンドタクシーについては運行管理システムの導入を予定し、【事業12】意識啓発を促す利用促進活動の展開、として、モビリティマネジメントに関するセミナーの実施や公共交通を利用したツアーの実施なども予定しております。

最後に、【事業13】運転手の確保策の実施、として、公共交通網の確保維持を図るため、運転手不足の問題を少しでも解消することを目的に、運転従事者の2種免許の運転免許取得に係る経費を負担する事業者に対しての補助制度も新設したところです。

以上、地域公共交通計画に掲げる実施事業について、令和5年度実施状況、これからの実施予定について、現段階での進捗状況を、報告させていただきました。以上でございます。

(事務局・鈴木)

では、チラシ(案)をご覧ください。今までのチラシに2つの事項を盛り込みました。

1つ目は、スマートフォンでの予約方法の追加であります。

2つ目は、3月の活性化協議会の説明や先程来話をしています、新官の一部と部原地区が新たに追加となったこと、御宿町まで乗り入れ含む運行拡大に伴うものとなります。

時刻表等の変更はありませんので、あくまで今までの利用者の方は今までどおり利用することができ、運行拡大については車両を2台から3台体制とし、AIを使った運行管理システムを使用して参りますのでより効率的な運行を行うこととなります。

利用者目線からは、今までの電話での予約はそのままに、スマートフォンからも予約ができるようになります。まだまだご高齢の方が多数です。電話での予約については今までどおりの予約方法でできます。

運行管理システムの件ですが、名前を聞くだけで簡単に検索をすることができ、自宅の場所や目的地の履歴が表示されますので、パソコンでの操作の手間が発生しますが、今まで勝浦市を知り尽くしたベテランの配車担当者さんが行ってきたものが、パソコンのより効率的になるものと考えます。また、利用者がスマートフォンを使用し予約をするとオペレーターを介さないで予約をすることができますのでまだ何年先になるかわかりませんが、省力化にも起因すると考えます。

ドライバー不足と言われている中、運行管理システムにより、デマンドタクシーに搭載してあるタブレット端末に配車情報がナビゲーションされますので、勝浦市にそんなに土地勘がないドライバーさんでも効率的な運行をすることができるかと思えます。

詳細につきましては、今後の活性化協議会においてシステム業者より説明をお願いしようと考えています。以上です。

(事務局・忍足)

今回の次第の中の6ページに今年度の事業計画を参考資料として載せさせていただいております。その中で、2回目のところに令和6年の8月頃と書いてありますが、今回の運賃改定に伴うパブリックコメントを行っている関係で、8月5日(月曜日)に運賃協議会と活性化協議会を開催したいと考えております。活性化協議会は14時からこの会議室で開催したいと思えます。また、近くなりましたら委員の皆様には通知を出しますのでよろしくお願いいたします。

(会長・加藤)

他に何かありますでしょうか。

何も無いようでしたら、本日の会議はこれをもって閉会といたします。長らくのご審議ありがとうございました。